

33. ライフル射撃競技実施要項

1 主 催 大分県高等学校体育連盟

2 期 日 平成 30 年 6 月 2 日 (土) 10 : 15 ~ 開会式
11 : 00 ~ 競技開始

6 月 3 日 (日) 9 : 30 ~ 競技開始
15 : 50 ~ 閉会式

第1日目【6月2日(土)】

- 1) 8:30 ~ 10:00 公式練習 (当日競技のある選手のみ各30分)
- 2) 10:15 ~ 10:45 開会式
- 3) 11:30 ~ 14:55 BR男女、B P 男女
- 4) 15:00 ~ 16:30 公式練習 (翌日競技のある選手のみ各30分)

第2日目【6月3日(日)】

- 5) 9:30 ~ 13:10 AR男女、A P 男女、BR男女、BP男女
- 6) 13:30 ~ BR男子個人戦ファイナル
- 7) 14:50 ~ B R 女子個人戦ファイナル
- 8) 15:50 ~ 閉会式

3 場 所 大分県立庄内屋内競技場

4 競技規則 各種目とも 『ライフル射撃競技規則集(第2巻)最新版』 による。

- 5 競技種目
- (1) 10mエア・ライフル立射60発競技(男子)
 - (2) 10mエア・ライフル立射60発競技(女子)
 - (3) ビーム・ライフル立射60発競技(男子)
 - (4) ビーム・ライフル立射60発競技(女子)
 - (5) ビーム・ピストル(デジタル)立射60発競技(男子)
 - (6) ビーム・ピストル(デジタル)立射60発競技(女子)
 - (7) エア・ピストル立射60発競技(男子) 【オープン競技】
 - (8) エア・ピストル立射60発競技(女子) 【オープン競技】

6 競技方法 (1) 団体戦、個人戦、個人戦ファイナル競技の実施の有無は以下の通り。

| | 団体戦 | 個人戦 | 個人戦ファイナル競技 |
|-----------|-----|--------|-----------------|
| エアライフル競技 | 実施 | 実施 | 実施(男女混合エキシビジョン) |
| ビームライフル競技 | 実施 | 実施 | 実施 |
| ビームピストル競技 | | 実施 | |
| エアピストル競技 | | オープン競技 | |

- (2) 団体戦は本戦得点合計で順位を決定する。
- (3) エアライフル・ビームピストル種目は本戦得点で、ビームライフル種目はファイナル得点で順位を決定する。
ただし、エアライフル・ビームライフル種目の全国大会個人戦出場者は、上位者とする。
- (4) エアライフル種目とビームライフル種目に同時にエントリーはできない。
- (5) エアピストルはオープン競技で実施する。ビームピストルと同時にエントリーできる。

総合優勝校の決定方法

| 種目 | 団体戦 | 個人戦 |
|-----------|--------------|-------------------------|
| エアライフル競技 | 1位:12P、2位:6P | 1位 5P ~ 5位 1P 各1Pきざみ |
| ビームライフル競技 | 1位:12P、2位:6P | 1位 8P ~ 8位 1P 各1Pきざみ |
| ビームピストル競技 | | 1位 5P ~ 5位 1P 各1Pきざみ |

それぞれ男女ごとに、上記のようにポイントを与え、合計ポイントの高い高校が総合優勝とする。
同点の場合は、次の順で上位校を決定する。

- ① 団体戦の合計ポイント数
- ② 個人入賞者数（全種目）
- ③ 個人順位合計のポイント（少ない方が上位）
- ④ 団体選手の個人戦獲得ポイント合計（多い方が上位）

7 参加資格 「第66回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。

8 参加制限 団体戦は、選手3名・補欠1名。申込用紙の「団体戦」欄に「選手」「補欠」と明記のこと。

9 参加申込 No.3 3 様式で男女は別紙に作成する。各2部印刷・捺印して、学校一括申込みする。

出場権の取得 平成30年度（第56回）全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会への出場権の取扱については、下記の通りとする。

(1) 団体戦出場校選考基準

- ① 「平成30年度（第56回）全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会参加制限」に準じる。
- ② 出場校にあっては、部活動が教育活動の一環として適切に行われていること。

(2) 個人戦出場選手の選考基準

- ① 「平成30年度（第56回）全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会参加制限」に準じる。

連絡事項 (1) 銃器・弾薬は各自携行し、運搬・携帯・保管について特に留意すること。

(2) 鉄砲所持許可書または年少撃資格認定書、日ラ会員証、射手手帳を携行すること。

(3) 銃には、有効な検定シールを貼っておくこと。

(4) 年少者射撃資格銃は、銃の射撃指導員が必ず同行すること。

(5) ゼッケンはB5横判（学校名、氏名記入）を各自背中につけること。

(6) 危害予防については各自が十分に留意すること。